

来賓らによる人員姿勢服装点検



災害への備え、再確認

◎鬼北町消防団夏季訓練

7月27日、町内各地で「鬼北町消防団夏季訓練」が実施されました。毎年、各分団に分かれて行われている本訓練では、夏の日差しが照りつける中、団員らは人員姿勢服装点検や機械器具点検などを実施。また、各分団がそれぞれに独自の計画を立て、ポンプ操法、連結訓練や土のう製作訓練など積極的に訓練を行いました。有事の際、率先して活躍することとなる消防団員。迅速に、そして適切に対応できるよう、団員らは一つ一つの動作を確認しながら、懸命に訓練に取り組んでいました。

100周年を祝ってテープカット



刻まれた100年の歴史を記念して

◎予土線開通100周年記念キックオフセレモニー

「予土線（旧宇和島鉄道）宇和島駅～近永駅間開通100周年記念キックオフセレモニー」は7月21日、JR宇和島駅構内で開催されました。セレモニーでは、宇和島市の伝統芸能である「牛鬼太鼓」と「牛鬼の練り」が披露され、会場を大いに盛り上げました。また、100周年を記念したヘッドマークの除幕やテープカットを実施。100周年を迎えた節目の1年の始まりを祝いました。セレモニーの最後には、宇和島駅・西田駅長の合図で記念列車が出発。関係団体等のゆるキャラや来場者らが、笑顔で列車を見送りました。

城西国際大学野球部の選手らと記念撮影



技術向上目指し、白球を追う

◎城西国際大学野球部合宿

千葉県の城西国際大学観光学部野球部の合宿は、8月3日～10日までの8日間、鬼北総合公園での練習をメインに行われました。合宿初日には、鬼北総合公園でセレモニーを実施。甲岡秀文鬼北町長が「一生懸命練習に取り組めば、たとえ結果が出なくても必ず良い経験として返ってくる」と選手を激励しました。例年通り、来年度の入部を目指す高校生を対象としたセレクションから始まった今年の合宿。今年は、あいにくの雨が多い天気となりましたが、自らの心身を成長させるため、選手らは熱心に練習に励んでいました。

出土品の石斧に興味津々の参加者



石斧から見る技術発達の歴史

◎興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト

「弥生時代の生活を復元体験！興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト」の第2回検討学習会は8月2日、近永公民館講堂で行われました。2回目となる今回の検討会では「弥生時代の石斧について学ぶ」と題して、石斧の歴史や石斧づくりのコツについて学習。大洲市の村島遺跡から出土された石斧の数々や、愛媛県教育委員会の谷若倫郎氏が復元的に作成した石斧などを実際に手に取りながら、参加した人たちはその技術の高さを体感していました。さらに、竪穴住居復元のモデル案も提案され、また一歩夢の復元へと近づきました。